

令和6年度1学期終業式校長講話

1学期は、暁峰祭があり、班活動の大きな大会があり、定期考査がありと、皆さん忙しかったことと思います。お疲れ様でした。5月の連休中のことですが、長野市が主催した「SDGsながの高校生書道パフォーマンス」というものがあり、本校の書道班も参加しました。善光寺の表参道を歩行者天国にして路上で書道パフォーマンスを行ったのですが、そこで書道班が書いた文を紹介します。「誰一人取り残さない 私たちの色で未来を作ろう 色とりどりに光る世界を創っていく あなたは特別な存在」書かれた文字の美しさもさることながら、一人一人の個性を大切に作る気持ちと、未来を作っていく前に進む気持ちのこもった、良い文だと思います。最初の「誰一人取り残さない」という言葉も、広くて深い意味が込められていると思いますが、この事に関連して、今日は長野吉田の勉強面の特徴について話したいと思います。

皆さんの模擬試験の結果や、昨年度の大学入学共通テストの結果には特徴があって、それは「最低点が高い」という事です。最高点が高いとか、平均点が高いというのは良く褒められることですが、「最低点が高い」という事はあまり聞かないかもしれません。ですが、これは私が以前授業をしていた時に、そういうクラスがあると褒めていたのですが、例えば「今回の地学のテストはこのクラス全員40点以上だった」と褒めるのです。時に、「先生、最低点を褒めてどうするの」と言われることもありましたが、「いや、地学の苦手な人もいるし、その時によってテストの点というのは高かったり低かったり波があるものだけど、クラス全員が40点以上とかなかなか無い。それに最高点は一人で取れるけど、最低点はクラス全員が頑張らなければ上がらない。これは凄いことだ。」と褒めたりしていました。模擬試験の結果は学校ごとの一覧というのが出るのですが、本校の最低点は、長野県でトップレベルに良いのです。それは「もう勉強なんかイヤ」と投げ出している人が一番少ない学校と言えるのではないかと思います。つまり、皆さん自身が「誰一人自分自身を取り残さずに頑張っている学校」と言えると思います。吉田には、暁峰祭が盛り上がるとか、班活動が盛んだとか、進路実績が良いとか、優しい人が沢山いるとか、強い人が沢山いるとか誇れることが沢山ありますが、誇れることをもう一つ皆さんに知ってもらいたくて、この話をしました。

さて、これから夏休みですが、夏休みと言っても補習があったり、班活動があったりで忙しい日々になると思います。熱中症に気を付けてください。水分を取り日陰で休憩するというのも大切ですが、睡眠不足や不規則な生活をしたり、朝食を食べないと熱中症になる可能性が高くなるそうです。水を凍らせたペットボトルで体を冷やすとか、濡れタオルを首にまくとか工夫をして熱中症にならないようにしてください。体調をととのえて良い夏休みにし、夏休み明けにまた元気に登校してください。